

【小施策評価(令和元年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	観光課	
施策	24	観光の振興	評価 責任者	曾根田 雅彦	内線 3720
小施策	24-3	国際観光の推進	評価 シート 作成者	杉田 博信	内線 3721

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
外国人観光客入込数は、東日本大震災の影響による低迷から回復した後、過去最高ペースで増えており、今後更なる増加が見込まれることから、広域連携を含めた積極的な海外プロモーション活動とともに、外国人観光客の受入環境整備や、盛岡の文化や祭りなどに触れ合う仕組みづくりが必要である。		Wi-Fi設備環境の充実や観光案内板などの多言語表記など、受入環境の整備を図るとともに、積極的な海外プロモーションを行うほか、外国人観光客や外国籍の市民が祭りや伝統芸能などを気軽に体験できる仕組みづくりを推進し、盛岡ファンを国内外に広げる。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
国内外の人		・多くの人が、盛岡の魅力を知る。・盛岡を訪れる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
		単 位	目指す方向	成 果 点	成果の要因分析
指標① 外国人観光客入込(宿泊)数		万人回	↗		
当初値 (H25)	0.7	R1目標値	2.0	R6目標値	6.0
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客入込数は令和元年度目標値(500万人回)を達成し、交流人口が拡大した。 ・外国人観光客入込数が1.2倍(前年度比)に増加した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・花巻空港の台湾定期便に加えて、中国定期便が就航開始したことから、国際定期便によるインバウンドの利便性が向上したことが増加につながっているものと考えられる。 ・「東北絆まつり」の東北6県の県庁所在地が連携して、祭りの紹介を含めた海外プロモーションや東北を対象とした旅行商品の開発、販売、広域振興局の枠組みによる国際旅行博への出展による海外プロモーションによる誘客宣伝効果により、増客が図られているものと考えられる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi設備環境の整備や多言語表記による観光ツールの整備とともに、従来の国際旅行博への出展のみによる海外プロモーションに係る予算確保が困難になってきていることから、プロモーションの内容の検討が必要である。 				<ul style="list-style-type: none"> ・国内の各地域においてインバウンドへのプロモーションが活発化し、誘客競争が激化していることから、単なる旅行博への出展によるプロモーションのみでは、効果が限定される傾向がある。 ・東北や県内全域などを対象とした広域的な取組みを進めるとともに、団体のみならず個人旅行者のニーズを捉えた国際定期便の安定就航につながる誘客に直結する施策の展開が求められている。 	
問題点				問題の要因分析	

今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ 外国人観光客の誘客を図るため、花巻空港の国際定期便の利用を前提とした海外プロモーション、盛岡・八幡平広域観光推進協議会の枠組みにより広域観光によるFAMツアーの実施によるプロモーションを予定しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により海外渡航が困難な状況となっており、事業の延期または中止の可能性が大きく、令和2年度中の大規模な海外プロモーションは困難な状況であることから、Wi-Fi設備の整備など受入環境の整備を行い、来年度に向けた施策の検討を進める。 ☆1 国内外からの観光客の更なる誘客促進に向けて、入込数の多い台湾や中国をターゲットにした具体的な旅行商品や観光コンテンツの売込み含めたより実践的な海外プロモーションによる誘客促進の取組を推進する。 	